

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (四国)	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（事務局長）	・プレミアム付商品券による消費喚起効果は間違いなく表れるものと期待している。ただし、商品券種は1000円券がほとんどでお釣りが出ないことから、少額の買物には向いておらず、業種によっては苦戦を強いられる。
		スーパー（店長）	・マイナス要素も感じられず、このままの状態であれば、景気は少し良くなっていくのではないかと。
		衣料品専門店（経営者）	・7月後半にかけ、客の商品の選び方が決め打ちとなっており、買い方が早くなっている。客単価も上がっており、秋にかけて良くなっていく。
		衣料品専門店（経営者）	・夏物販売も終わり、セールもあまり良くなかったが、これから秋物商品を入荷することで、多少は良くなるだろう。ただ、まだまだ厳しい状況に変わりはない。特に、地方の景気はなかなか良くならない。
		衣料品専門店（総務担当）	・プレミアム付商品券による消費増加を期待している。小さいかもしれないが需要が見込めるのではないかと。
		乗用車販売店（役員）	・2～3か月先は、プリウスやクラウン等の新型車投入などがあるため、景気は上向いてくる。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型車販売を9月上旬に予定しており、これを起爆剤として良くなるよう仕掛けたい。
		住関連専門店（経営者）	・大手企業を中心に、テレビ、新聞などでは、景気は上向いていると言われており、今後、多少なりとも恩恵がある。
	通信会社（支店長）	・上海市場の株の動きは気になるが、ギリシャ問題も落ち着きつつある。お盆商戦から9月には人気商品の発売も予定していることから、景気浮揚の一助になればと考えている。	
	観光遊園地（職員）	・民間企業のボーナスが上がっている。	
	変わらない	商店街（代表者）	・景気問題についてもっと活発に論議し、やや持ち直しつつある景気が腰折れしないよう野党の猛省を促したい。
		商店街（代表者）	・景気に不透明感がある。少しずつ商品の値上がりが増えてきており、顧客の消費が鈍くなるのではないかと。
		一般小売店〔文具店〕（経営者）	・現状、改善される要素が見当たらない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・問い合わせなどが増えて来ているが、まだ売上に直接結び付いていない。秋まで、このまま繁華街の人出が多いままでいてくれれば、景気回復の実感が湧く。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	・景気が良くなり国民全員にお金が行かなければ、需要も供給も潤わない。酒類の底値で大手が販売している現状では、小売店はどう努力しても無駄である。
		百貨店（営業担当）	・来客数も大して増えていないので、景気は変わらないと判断。
		百貨店（販売促進担当）	・食品の売上は継続的に安定しているが、主軸の衣料品・高額品の回復が遅れている。
		百貨店（営業推進）	・プレミアム付商品券の発行は、多少のプラスではあるが、なかなか景気の上ブレには影響していない。生活費の補てんとの意味合いが強く、食料品などの売上には回っているものの、衣料品や雑貨などには回ってきていない。
スーパー（企画担当）		・価格上昇が続く限り、客数の増加につながらない。	
スーパー（財務担当）		・1品単価は今後も上昇する一方、買上点数はやや減少していく。	
コンビニ（店長）	・良くなる要素が全くない。プレミアム付商品券購入のコンビニ支払受付がとても多い。節約志向が始まりつつあると感じている。他社ではプレミアム付商品券の利用でキャッシュバックしているところもあると聞く。		
コンビニ（総務）	・天候や気温に大きく左右されるが、景気が良くなる要素が考えられない。		
乗用車販売店（従業員）	・新車市場の縮小に伴い、新車販売店は車検等の整備やタイヤ等の販売で収益減少のカバーを図っているため、カー用品の販売業界等はその影響を受け、今後厳しくなる事が予想される。		
乗用車販売店（従業員）	・新型車効果を期待しているが、景気が上向く要素はあまり考えられない。秋から年末にかけ、様々な販売施策により、ユーザーの購買意欲を上げていきたい。		
乗用車販売店（従業員）	・ボーナス時期に期待していたが、良くなる動きは見られなかった。		
その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・食品の売上は堅調に推移すると思うが、それ以外の、特に衣料品関係は今後も期待できないだろう。		

		その他小売 [ショッピングセンター] (副支配人)	・良くなる要素は見当たらないが、前年は台風が多かったので、客数の伸びを期待している。
		その他飲食 [ファーストフード] (経営者)	・良くなるとは思えないが、悪くなるとも思えない。
		観光型旅館 (経営者)	・四国は全国との競争の中、交通アクセス等の面で非常に厳しいため、四国全体の価値を上げることが必要である。
		旅行代理店 (支店長)	・9月の大型連休を除き、海外ロング方面の需要回復の兆しが見えず、販売の拡大が望めない。
		タクシー運転手	・2～3か月先は、今月程度の水揚げがキープできるだろう。夏休みも終わり、サラリーマンやその他営業の方が動く判断している。
		通信会社 (営業担当)	・夏商戦が一段落し、次回新機種販売までは市場の動きが鈍る。
		通信会社 (企画)	・今後も大きなイベントがないため、変わらない。ただし、有名日本人スポーツ選手の活躍などがあれば、変化するかもしれない。
		ゴルフ場 (従業員)	・客単価は低い状況が続いているため、気候的に入場者も増えていく時期であるが、状況は変わらない。
		競艇場 (職員)	・8月に、女子の大きなレースが開催され、売上増加が期待されるが、その他の月は大きなレースも無く、大幅な売上増加は期待出来ない。
		美容室 (経営者)	・景気回復の実感が地方ではまだ感じられない。
		住宅販売会社 (従業員)	・7月の集客内容は良くなく、8月は例年集客が少ない。9月以降の集客で受注すると考えると、景気が回復するのは10月以降になると見込まれる。
	やや悪くなる	商店街 (代表者)	・プレミアム付商品券の売上が想定以上に悪く、商店街の各店のマインドがかなり低下しているようだ。夏物のクリアランスもかなり厳しい状況が続いており、秋物の立ち上がり不安である。
		衣料品専門店 (経営者)	・円安の影響で値上がりするものが多い。
		家電量販店 (店員)	・季節商材のみ動きがみられるため、それらが低迷するところにはまた悪化する。
		その他専門店 [酒] (経営者)	・今現在が一番景気がいい時期であり、2～3か月先は少し景気が悪くなる。
		タクシー運転手	・暑い時期が続き、四国霊場開創1200年記念行事が終わり、客が大幅に減少している中、今後、お遍路客の仕事もほとんどなく、街も良くなる様子はないので、今より更に水揚げは落ちるだろう。
		通信会社 (営業担当)	・季節変動と新モデル発売前の買い控えが想定される。
	悪くなる	コンビニ (店長)	・コンビニ業界は、7～8月が1番売上高が取れる時期であるが、今月の既存店の売上は昨年を割り込んでおり、来月以降も改善は望めない。
企業 動向 関連 (四国)	良くなる	食料品製造業 (商品統括)	・製造業の国内回帰は継続しており、人手確保のため賃金アップによる求人を行っている。
	やや良くなる	木材木製品製造業	・2017年4月導入予定の消費税増税に対応する需要増は、年後半から出てくるだろう。建設資材価格の先高観、工事職人不足などに加え、2015年度の中小工務店向け住宅施策の一次採択も終わり、今後着工につながる工事見込物件がある。
		パルプ・紙・紙加工品製造業 (経営者)	・しばらくは今のような状態が続くのではないかと。
		広告代理店 (経営者)	・県外大手映画施設のオープン販促受注及びプレミアム付商品券を期待する販促等で少し受注が増加しており、景気は多少上向くだろう。
	変わらない	農林水産業 (総務担当)	・例年並みの市場出回り量を見込んでいる。
		食料品製造業 (経営者)	・原材料の高騰に対し、製品販売価格に転嫁出来ていない。
		繊維工業 (経営者)	・受注が好調な販売先とそうでない販売先に二極化し、海外観光客の多い地区や特徴のある店舗運営に注力している先は好調が続く。
		鉄鋼業 (総務部長)	・造船関係の受注量は今後も安定的な推移を見込んでいるが、受注価格は低下傾向にある。
		一般機械器具製造業 (経理担当)	・地域ごとに需要のばらつきがある海外市場や原油価格、資源価格の動向などに注意が必要である。
		電気機械器具製造業 (経理)	・得意先からの受注は大きく変動しないと見通している。一部の製品においては受注増加を予測しているが、将来分の前倒しであり、景気感に影響を及ぼすものではないと判断している。
		建設会社 (経理担当)	・現在は営繕工事の受注しかなく、景気は変わっていない。

	建設業（経営者）	・公共事業費は、前年とあまり変わらないようだ。	
	輸送業（経営者）	・燃料費等が安定している。	
	輸送業（営業）	・夏場は季節商材の動向が取扱物量を大きく左右する時期であり、プレミアム付商品券や旅行券を使用した特需による消費拡大を期待する。	
	輸送業（支店長）	・海外調達は低調である一方、猛暑の影響で、一般消費財の消費は伸張している。内需型企業は好調に推移する。	
	通信業（総務担当）	・特に、変動要素は見当たらない。	
	通信業（部長）	・現在の受注現状から、大きく変化する要素は無く、今後もしばらくは同様な状況が続く。	
	金融業（副支店長）	・業種によって業績の差がありすぎて、全般的に景気が良くなっているとは考えにくい。	
	公認会計士	・建設業を始め、どの業種においても、設備投資計画を今のところ持っていない企業が増えている。ただ、道後のホテル関係は外国人観光客が増えているため、設備投資に意欲を持っているようだ。	
	やや悪くなる	建設業（経営者）	・自治体の仕事の内容・分野が偏っており、業種間格差がある。この状況が大きく変わることはないと思込まれるため、数か月先までは好転しない。
	悪くなる	-	-
雇用 関連 (四国)	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・株価の高騰により、企業の投資意欲が依然高く、求人の方々の増加が見込まれる。
		求人情報誌（営業）	・周辺企業の受注状況等を見ていると、各業種とも数か月先までの受注残を抱えており、景気は良くなるのが予想される。ただ、どの業種も慢性的な人材不足が続いており、長引くようだと景気は停滞する。
		求人情報誌制作会社（従業員）	・異動時期のため、求人数の増加が見込まれる。
		職業安定所	・新規求職者が前月比2.1%増加したが、新規求人数が13.2%増加したことにより、月間有効求人倍率は0.03ポイント上昇した。なお、従業員100人未満の企業からの求人が増えており、中小企業も景気回復基調にあると感じられる。
	変わらない	人材派遣会社（営業）	・人材不足によって、業務縮小、経営困難な中小企業も出てくる事が感じられ、求人条件も工夫が必要となっている。企業、求職者共に大きな動きは見込めない。
		人材派遣会社（営業担当）	・人材不足の影響も考慮し、法改正や様々な規制の影響について、人事担当者が注目しており、派遣の雇用は一段と慎重である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・今の景気が、実は通常の景気なのではないか。必要なものを最小限購入し、無駄な出費を抑える生活が浸透したのではないか。また、主立った企業が県外資本で、県内景気に寄与するのが観光・サービス業しかないのでは、浮揚のチャンスはない。
		職業安定所（職員）	・事業所における採用条件の緩和や雇用条件の改善があまり見られず、大きな変化はない。
		民間職業紹介機関（所長）	・地方の場合、賞与は前年並みの企業が多い。少し景気の高揚感はあるが、内部留保に回すという企業も多い。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-